

評価者	教育部長	佐々木 聡
-----	------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用
目標とすべきまちの姿	大学や高等学校、地方公共団体、NPO法人など民間事業者を含む生涯学習関係団体との連携により、多様で効果的な学習プログラムが市民に提供され、すべての市民が、生涯のいつでも、等しく、自由に学習機会を選択して学ぶことができます。 また、その成果が適正に評価され、さまざまな形で生かすことのできる生涯学習社会が実現しています。 子どもから高齢者まで幅広い年代の方々が地域での学習に取り組み、そのなかで多様なコミュニティが形成され、地域が主体となって生涯学習を推進しています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	33.6%	平成30年度(2018年度)	36.2%	平成29年度(2017年度)	36.9%
	平成28年度(2016年度)	34.3%	平成27年度(2015年度)	24.9%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.6%	0.5%	0.2%
ちょうどよい	1.6%	39.4%	0.8%
効果不十分	4.5%	3.2%	7.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	1.3%	39.5%	1.3%
効果不十分	3.8%	1.7%	9.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.9%	0.7%	0.5%
ちょうどよい	2.1%	36.7%	0.9%
効果不十分	4.2%	2.3%	8.4%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.0%	1.4%	0.2%
ちょうどよい	1.4%	40.0%	1.2%
効果不十分	3.2%	2.7%	8.2%

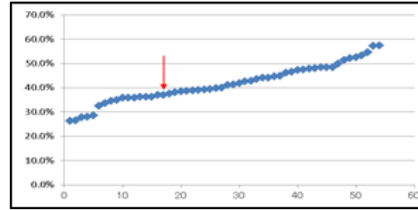
仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.4%	1.0%	0.0%
	ちょうどよい	2.4%	37.1%	1.3%
	効果不十分	4.3%	4.4%	8.3%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	11.4%	39.8%	8.6%	40.2%
平成30年度(2018年度)	15.2%	37.7%	6.8%	40.3%
平成29年度(2017年度)	13.7%	36.0%	8.3%	42.0%
平成28年度(2016年度)	13.9%	40.3%	6.9%	38.9%
平成27年度(2015年度)	14.9%	37.9%	7.9%	39.3%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①家庭教育の一環として、鎌倉の未来を担う子どもたちの成長のため、引き続き写生大会・コンサートを実施するとともに、さらなる事業展開に向け、検討を行う。(教育-09)
- ②稲村ヶ崎小学校及び今泉小学校で実施している放課後子ども教室については、充実したプログラムを提供するとともに、令和2年度(2020年度)からの放課後子ども総合プランとしての実施に向け、こどもみらい部への円滑な移管を行う。(教育-10)
- ③鎌倉市生涯学習推進委員会による事業の実施及び大学等との協働による公開講座を実施し、学習機会の充実に努めるとともに、現在講座に参加していない人のニーズ把握の方法を検討する。(教育-11)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①写生大会やコンサートは、市内の名所旧跡・神社仏閣への触れ合いや親子による体験学習の場となり、学習機会につながるものである。(教育-09)
- ②地域の特色を生かしながら、子どもの居場所づくりなど、交流できる学習交流の機会などを通じ、地域が主体となった生涯学習の推進につなげていける。(教育-09、10、11)
- ③多様な学習プログラムを実施することで、すべての市民が、自由に学習機会を選択することができる。また、大学等との協働による公開講座を実施することで、幅広い年代の方々が地域の中で多様なコミュニティを形成し、生涯学習を推進することができる。(教育-09、10、11)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
教育-09	社会教育運営事業	5,006	4,390	1.5	1.0	無	a	B
教育-10	放課後子ども教室運営事業	1,125	1,355	0.8	0.9	無	d	C
教育-11	生涯学習センター推進事業	9,525	14,335	0.7	1.3	無	a	B
教育-40	社会教育運営事業	156	0	0.1	0	無	a	B

**(4) 主な実施内容**

<p><b>【主な実施内容】</b>                  ①市内在住・在学の小中学生を対象にコンサート等を開催した。(教育-09)                  ②放課後子ども教室運営会議、教育活動サポーターの安全研修会、放課後子ども教室を実施した。(教育-10)                  ③市民団体である鎌倉市生涯学習推進委員会に委託して、各種講座・イベントの開催や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の発行、生涯学習教養セミナー等の生涯学習事業を実施した。(教育-11)</p>
<p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p>

**(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
<p><b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>                  ・放課後子ども教室における事業費は、コーディネーター、教育活動推進員等への謝礼など、ほとんどが人件費である。地域の人材を活用することで必要最小限の事業費で実施していることから、効率性を適切と評価した。(教育-10)                  ・鎌倉市生涯学習推進委員会に委託している各種講座等について、幅広い年代に提供できているか検証する余地があるため、公平性を要改善と判断した。(教育-11)                  ・子どものためのウインターコンサートなどは、家族で参加することが多く、家庭教育支援の一翼を担っている部分もあるが、事業によっては効果が見えにくいものもあり、取組内容等の見直しが必要と考え、妥当性及び有効性について、要改善と判断した。(教育-09)</p>		

**3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)**

<b>整理番号</b>	教育-09	<b>事業名</b>	社会教育運営事業							
<b>指標の内容</b>	3回の主催事業の参加人数 (子どものためのウインターコンサート、かまくらこどもコンサート、写生大会)					<b>単位</b>	人	<b>指標の傾向</b>	⇒	<b>備考</b>
<b>当該指標を設定した理由</b>	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H28(2016年度)、H30(2018年度)は写生大会が中止のため2事業の値。 R01(2019)は、かまくらこどもコンサートが中止のため2事業の値。		
子どもに対するより多くの学びの機会の提供	目標値	750	750	750	750	750	750			
	実績値	775	995	765	987	749	320			
	達成率	103.3%	132.7%	102.0%	131.6%	99.9%	42.7%			
<b>整理番号</b>	教育-10	<b>事業名</b>	放課後子ども教室運営事業							
<b>指標の内容</b>	稲村ヶ崎小学校、今泉小学校での教室参加児童数					<b>単位</b>	人	<b>指標の傾向</b>	⇒	<b>備考</b>
<b>当該指標を設定した理由</b>	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R01(2019)は新型コロナウイルス感染症予防のため3月の実施を中止。		
プログラムの充実	目標値	1,200	1,800	1,900	1,900	1,900	1,900			
	実績値	1,763	1,932	1,982	2,188	1,908	1,689			
	達成率	146.9%	107.3%	104.3%	115.2%	100.4%	88.9%			
<b>整理番号</b>	教育-11	<b>事業名</b>	生涯学習センター推進事業							
<b>指標の内容</b>	学習センター利用者数					<b>単位</b>	千人	<b>指標の傾向</b>	⇒	<b>備考</b>
<b>当該指標を設定した理由</b>	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	耐震改修工事による施設の一部使用休止のため、目標値を変更した。		
生涯学習の振興状況を計るため	目標値	580.0	585.0	590.0	595.0	600.0	285.0			
	実績値	627.0	560.0	535.0	539.0	473.0	258.0			
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%	90.6%	78.8%	90.5%			